

録音：2024年12月27日午後

録音者：山下吉彦

通話者：山下吉彦、アトル福岡第一営業所担当石田氏

反訳者：弁護士西浦善彦

山下吉彦: はい。お世話になります。今大丈夫ですか？

アトル石田氏: はい。

山下吉彦: あ、はい。あ、すみません。あの、アトルのお名前どちら様でしたか。石田様でしたか。

アトル石田さん: あ、石田と申します。

山下吉彦: あ、石田様ですね。すみません。お忙しいところすみません。

アトル石田さん: いえいえ。はい。

山下吉彦: で、今日午前中にいただいた返事のちょっともう一回確認なんですけど、あの、仮に取引開始を2月とか3月にしても、あの、無理なんですよ。

アトル石田さん: もう、そういうのがもうグループとして取引しないようになって、ちょっと難しいんですよ。

山下吉彦: 要するに、零売薬局が、なんと申しますか、その営業所というわけではなくて、会社全体で

アトル石田さん: はい、そういうのがダメという形になってますので。

山下吉彦: 会社として受けてもらえないということですね。

アトル石田さん: はい。申し訳ございません。グループで、そのルールが厳しくてですね。取引する上で基準がありまして。すみません。それでできない状況で。

山下吉彦: ちなみに、他の卸さんも同じ感じなのですかね。まだ返事来てないんですけど。

アトル石田さん: ごめんなさい。他の卸はアレなんですけど、厳しい状況だと思います。今新規を大体断っているところなんです。普通の薬局さんでも。人がいないんですよ。

山下吉彦: なるほどですね。

アトル石田さん: 配送も例えばもう、あの、大きいところ以外だったら、もう本当に週に1回とか、その上預託金を、やっぱ、例えば薬局だったら500万納めてもらって、やっぱもう厳しくなってるんですよ。倒産するところも多いので。

山下吉彦: あ、なるほどですね。

アトル石田さん: はい。だから、ちょっと、まあ、普通の薬局でも、その預託金をもらったりとか、ちょっと、まあ、保証人が二人の、あの、限度額を決めたりとか、結構厳しくて。で、

今のその、今回こちらの薬局さんまでは、ちょっとその取引する条件に入っていないので、ちょっとできない状態なんです。すみません。

山下吉彦: これ、仮にその、なんて言うんですかね、厳しくなった条件、その預託金とかもそうですけども、そういう条件をこちらが、あの、受けて、同じような条件出してもらっても、要するに、零売っていうことで難しいということですかね。

アトル石田さん: 零売は、はい、もうそれは、それ自体が、ちょっともううちとしては、もうお断りしてるっていうことになってますので。すみません、申し訳ありません。

山下吉彦: わかりました。うん、すみません。お忙しいところありがとうございました。

アトル石田さん: すみません。申し訳ありません。

山下吉彦: はい。ありがとうございます。失礼します。

アトル石田さん: はい、どうも失礼します。ありがとうございます。失礼いたします。

以 上